

2018 災害時避難所実習 at 大手前高校 役割実施記録から 平成 30 年 7 月 17 日（火）18：00～20：00 at 大阪府立大手前高等学校

部門	役割	指摘事項
本部	避難所開設 運営メンバー集合 受付設営	<ul style="list-style-type: none"> ゲートのレール溝のバリアフリー対策にダンボールなどを準備してはどうか。 集合場所は安全か。車の進入はないのか。 受付場所が暗いので早めに照明器具の設置が必要。風が吹き抜けるので用紙等を扱うためには風対策が必要。
	運営メンバー班分け 物資庫鍵開け 本部運営	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに一旦集合することが徹底しなかった。高校生のチームによって最初の動きが違った。 鍵開けて戻ってくるのが精いっぱいだった。鍵準備に手違いがあり可搬式ポンプ庫の鍵が開けられなかった。 各班からの問い合わせは少なく、どこにもものを持って行くかを聞かれる程度。受付のフォローをした。
受付	運営メンバー受付 受付運営・記録 要支援者案内	<ul style="list-style-type: none"> 受付の前に要支援者をすわれる場所に誘導すべきではないか。 受付の方法が把握しにくかった。受付済シールが目立った方がよい。マジックの準備が必要。 簡略化し布テープに名前がよいのではないか。 受付済の集計のタイミングが難しい。内訳は地区別よりも要支援者の人数がわかる方がよい。 要支援者はヘルプマークの受付を設けてはどうか。ヘルプマークを知っておく必要がある。
総務	掲示板設置・記入 防災無線	<ul style="list-style-type: none"> 最初の30分では各班からの報告が集まらないし、見る人もいない。学生スタッフに各班の様子を見にってもらった。 防災無線は体験せず
管理	開設物資運搬・設営 避難場所開錠・管理 簡易トイレ設営・点検 照明設置・点灯	<ul style="list-style-type: none"> 運搬するものがそろって出せなかったので何度も運ぶことになった。 避難場所を開錠。車いす利用者が一番奥の要支援者避難場所（柔道場）までバリアフリーでいけることを確認。 トイレのテントは土に杭止めする必要がある、あらかじめグラウンドで場所を決めておいた方がよい。 高校生スタッフはミッション通りしようとしたが、相談してトイレ使用禁止等の貼紙は省略した。 貼紙にふりがなと英語表記が必要。 高校生スタッフを中心に照明器具設置。発電機用ガスボンベが高校事務室にあるならわかるように書いておくべき。 発電機と照明器具が近いとコードを出し切るのがたいへんなので短いコードリールも必要ではないか。 LEDランプとスタンド別においてあり手間どった。スタンドのことがミッションに書いてなかった。 ランプをどこに当てるかも指示が必要。
救護	可搬式ポンプ	<ul style="list-style-type: none"> 可搬式ポンプは移動も起動も力があるので、実習は体力のある人が担当するよう配慮が必要
	けが人応急救護・搬送	<ul style="list-style-type: none"> 消防署の指導により、学生スタッフを中心に体験 救急箱があることで一定の意識はわかったが、今入っているものでは実際にはほとんど対応できないだろう。
物資 食料	備蓄物資管理 非常食準備	<ul style="list-style-type: none"> ミッションを見る間もなく、先に高校生スタッフが備蓄庫に行っておりうろたえた。 物資があらかじめ分かってないとみんなが外で待つことになる。最初に一通り出そうとしても一通りがわからない。 トイレ物資11, 27, 28はひも付けした方がよい 非常食の準備には手が回らなかった

○ 全般

- 参加した高校生も災害時には自分たちが動く必要があることが理解できたのではないかな。
- この実習は避難所で何をやる必要があるかを30分で体験することに意義がある。すぐにすべきかどうかや具体的な方法は現場で判断せざるを得ない。
- 初めての人に30分で可搬式ポンプ使い方を身につけてもらうのは難しいので、別にちゃんと訓練を受けてほしい。

○ 総評

- 実習を重ねるたびに活動が充実し、次の課題も見えてくる。高校定時制と合同で実習した意義は大きく、新たな検討課題が見つかった。大災害時、大手前高校には地域の人があまりタッチできない可能性があり、連携の仕組みを考えておく必要がある。